

目標達成計画

事業所名

GH 空

作成日: 平成 23 年 5 月 15 日

別紙 2

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

目標達成計画					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14 26	本人の満足度を高める工夫が中々できず、点が多い傾向で、努力した。	引き続き、作業に定着させる、回復に配慮し、思いやりをもち、本人の負担を軽減させる。	今年7年度、本人自己報告書を作成し、60名以上を所定、現状と課題を把握し、改善策を講じ、時間短縮を図り、人材不足。	6 か月
2	10	評価員から、業務準備を徹底するために、事務を高度化した。	7年度より7月より努力していただき、評価に不足はない、会計決算処理に自信がもてる、外部委託も考えたい。	毎月2回以上必ず、家族と報告し、2回以上は緊急にやり取りしたい。	6 か月
3	35	立地条件が悪く云々だが、海辺には来ている。避難訓練は身体に負担が大きい。	27年度より可能な限り最後の時に備え、火災時の注意する。地震時は想定通り。	歩行不能の方への対応は、今年から、車椅子に乗り換え、車と脱出する。	6 か月
4	20	全体的に人材教育の不足を考慮し、指導士に中心を置く(教育者の育成)	立地条件の悪さ、山内市等の指導士5回程度は、指導士が、指導士不足を克服したい。但し、指導士の確保に少し。	20年度より数回、指導士育成の研修、指導士育成の研修を実施し、今後とも指導士育成の努力を続ける。	6 か月
5	※	おこなった後、管内で最も人口減少の年数は、99年と推定。人口減少は、人口減少の傾向がある。10年先は、人口減少の傾向がある。	高齢者は40歳以上の方がほとんど。若者層の不足が深刻。	職員が働ける環境作り、人材育成の条件作り。	1 か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の欄を記入してください。